

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 放課後子ども教室のさらなる充実化で子どもたちに魅力ある放課後を

質問要旨

近年共働き世帯の増加や核家族化により、保育園とともに学童クラブのニーズも非常に高くなっており、市の人口も増え続けていることから既存の学童クラブでは足りずに増設される学校が増えています。

一方で、市では「子どもに多様な体験・活動を提供するなど、より多様な保育ニーズに応えられる放課後の居場所を確保するため」として2020(令和2)年度から民設民営学童クラブの補助事業を開始しました。

こうした子どもの居場所の選択肢が広がることやサービスの充実化は保護者にとって望ましいことではあるものの、本来子どもたちに多様な体験・活動の場を提供してきたのは、現在市立小学校 19 校全校で行われている「放課後子ども教室」であり、前回の一般質問でも確認したように、小平市においては学童クラブと放課後子ども教室の両事業を一体型に実施することを推進しています。地域の力を得て放課後子ども教室の充実化が各校で一層図られることにより、公設の学童クラブ入会児童のみならずその他の児童たちも、より魅力ある放課後を過ごすことができるのではという思いから、以下質問いたします。

- (1) 放課後子ども教室の実行委員会のメンバーはどのような方々で構成されていますか。
- (2) コーディネーターはどのような基準で選ばれ依頼されるのでしょうか。
- (3) コーディネーターの平均在籍年数、待遇について教えてください。
- (4) 実際に教室を担当する講師(教育活動推進員)は主にどのような経緯で参加されていますか。
- (5) 市立小学校全 19 校のうち年間を通して開設されている教室は平均いくつありますか。また、最も多い学校と少ない学校の教室数をお示ください。
- (6) 市立小学校全 19 校の放課後子ども教室への児童の登録率をお示ください。
- (7) 学校によって教室数にばらつきがありますが、この差を埋めるため、また放課後子ども教室をより魅力的なものにするために検討していることはありますか。
- (8) 各地域で講師となり得る才能を発揮する人材と繋がっていくために課題となることは何ですか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 3 年 2 月 10 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山浦 まゆみ

受付番号【 】

27	26	25	24

— (/)